

千寿の郷 かわら版 9月号

介護老人保健施設 千寿の郷

足立区柳原2-33-6

TEL 03-3870-4621

FAX 03-3870-5228

2015年9月10日 183号

ホームページ ⇒ <http://senjyunosato.kenwa.or.jp/> ☆千寿の郷ブログ☆絶賛更新中。

Twitter⇒<https://mobile.twitter.com/senjyunosato>

ホームページよりアクセスしてください！

原水爆禁止2015年世界大会in長崎

8月7日～8月9日の3日間、長崎で行われた、原水爆禁止2015年世界大会に参加してきました。

1日目は市民会館で集会でした。世界各国の参加者がスピーチをしていました。また、谷口稜暉(すみてる)さんが来てお話しをしてくださいました。

谷口稜暉さんとは、被爆者の方で背中に大火傷を負い、1年9ヶ月もうつ伏せの状態で過ごしたという人です。いまでも核兵器根絶のために活動をしています。

渡辺千恵子さんを題材にした合唱組曲「平和の旅へ」も聞きました。渡辺千恵子さんは16歳で被爆し、下半身不随になった女性です。長崎原爆乙女の会を結成したり、原水爆禁止大会で被爆体験を語っていた人です。1993年に亡くなりました。

2日目は各会場に分かれ、原爆についてや碑めぐりなどをしました。私は“青年の集い”に参加し、被爆者の方からお話しを聞きました。私にお話ししてくれた方は、2歳で被爆し、腕に少し被爆の後が残る程度で軽かったと言っていました。普段は自分が被爆者だとは感じずに元気に過ごしているが、ふとした瞬間に被爆者であることを思い出し不安になることがあると話していました。そしていま、被爆者の方々の高齢化により被爆者の会がどんどん解散していつてしまっていることなどを話してくれました。

3日目は、閉会式で市民会館に集まりました。1日目と同じで色んな方がスピーチしました。原爆投下直後のお話しをしてくださった女性がいました。家族を探している途中で、友達に会い「お水ちょうだい」と言われたが「あとでね」と伝え去ったのが、その友達と最後の会話になったことなどとても印象に残りました。

今回、初めてこのような大会に参加させていただきました。自分が学校で学んだこと、テレビで見たことよりも、実際に経験者からの実体験を聞く事でより原爆が悲惨なもので二度と同じことがあってはいけないことだなと感じました。自分の知識の少なさも実感したので、これからはもっと知識を増やして行きたいです。

被爆者の方から直接お話しを聞ける機会は、今後少なくなってくるので、とても貴重な体験をさせていただいたと思っています。この経験を忘れないよう、見聞きしたことを周りの人たちに話そうと思います。

入所職員 会田 春菜



職員紹介

埼玉県三郷市にあるみさと健和病院から異動となり
6月からお世話になっています。

以前、包括千寿の郷でお世話になったことがあり、再び、地域の皆さんに支えられている千寿の郷に勤務できることになりました。

以前の勤務は、金八先生のドラマ撮影が土手で行われていた頃です。北千住の駅前はかなり変わり、風景の中にスカイツリーが見えるようになりました。

街の変化を楽しみながら、地域の皆さんとの交流を、又、他職種スタッフと共に楽しんで勤務できたらと考えています。

相談員 小倉 香苗



フラワーアレンジメント



《9月の行事予定》

- 4日(金) 習字
- 7日(月) 新舞踊
- 10日(木) ちぎり絵
- 16日(水) あめんぼサークル
- 19日(土) 菊呂会
- 24日(木) ちぎり絵
- 25日(金) フラワー
アレンジメント
- 26日(土) 習字
- 毎週(月) 手工芸
- 毎週(木) コーヒーサービス

テーマ「夏の思ひ出」

使用した花

タマシダ・ゴット・カーネーション・向日葵
トルコキキョウ・シンホリカルポス

季節の言標〜長月〜

世の中は 浮かれ浮かれて 阿波踊り
よみがえる 亡き九ちゃんの 三十忌

通所利用者 益田 充様

五重の塔 跡てふ礎石 蟬しぐれ
新涼の 御手洗杓を 並べあり

通所利用者 愛子様

ちろろ鳴く 朝の厨の 足元に
新涼の 風吹き抜けし 四阿に
四阿で 四方山話 百日紅
指先を 真赤に染めて 梅を干す

通所利用者 平木 フサエ様

ふるさとの 田を渡る風 心地良く
来し日を思う 遠花火かな

匿名希望様